

広報

710の

6

2008
No. 653

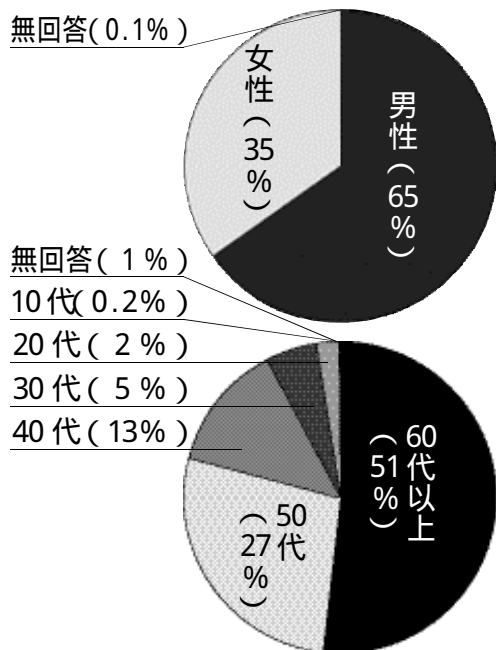
丹精込めて鮮やかに。

■りっぱに育ったサツキと盆栽一堂に

町内の愛好家が育てたサツキと盆栽の展示会、第36回日野町さつきまつりが、6月2日から4日まで山村開発センターで開かれ、来場者の目を楽しませました。

受賞者（最優秀賞のみ掲載）：さつきの部＝（銘木の部）荒木朝則さん（黒坂）
盆栽の部＝飯島義政さん（黒坂）

地上デジタル放送移行対応状況調査 および地域情報化住民意向アンケート 集計結果をお知らせします



▼記入した人の性別

▼記入した人の年齢

地上デジタル放送移行対応状況調査

▼町内全世帯数 1549

▼調査票配布数 1348

▼回収総数 1238 (回収率92%)

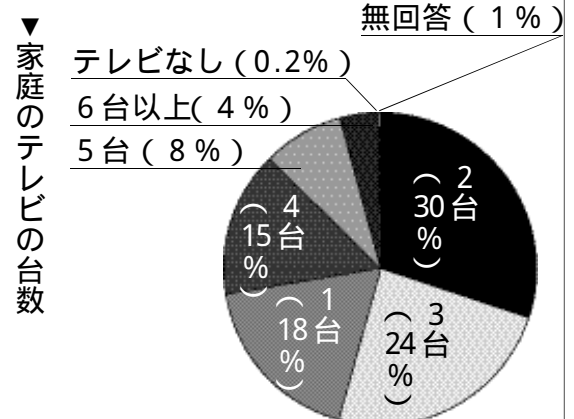
2011年7月24日、現在のテレビ放送(アナログ放送)は電波を出すことをやめ、すべて地上デジタル放送(地デジ)に切り替わります。

町では、まちの皆さんが混乱なく地デジに移行できるよう、全世帯の状況を把握するための「地上デジタル放送移行対応状況調査」を3月に行いました。

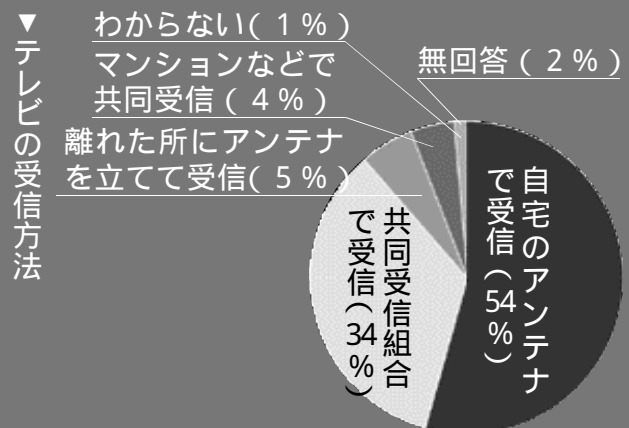
また、携帯電話やインターネット環境などについての「地域情報化住民意向アンケート」もあわせて行いました。

今月は、「地上デジタル放送移行対応状況調査」の集計結果をお知らせします。

- ▼テレビの映り具合
- ①NHK総合=よく映る(77%)、映りが悪い(19%)、映らない(1%)、無回答(3%)
 - ②NHK教育=よく映る(80%)、映りが悪い(14%)、映らない(1%)、無回答(5%)
 - ③日本海テレビ=よく映る(71%)、映りが悪い(23%)、映らない(2%)、無回答(4%)
 - ④山陰放送=よく映る(77%)、映りが悪い(18%)、映らない(1%)、無回答(4%)
 - ⑤山陰中央テレビ=よく映る(71%)、映りが悪い(21%)、映らない(2%)、無回答(5%)



- ▼衛星放送の受信状況
- 衛星放送を受信している(50%)
- 【内訳】BSアナログ放送(BS1、BS2など)を受信=50%、BSデジタル放送(BSジャパン、BSフジなど)を受信=19%、BSアナログ放送とBSデジタル放送を受信=19%、わからない=7%、無回答=5%
- 今は受信していないが、今後受信する予定である(21%)
- 今も受信していないし、今後も受信しない(22%)
- 無回答(7%)

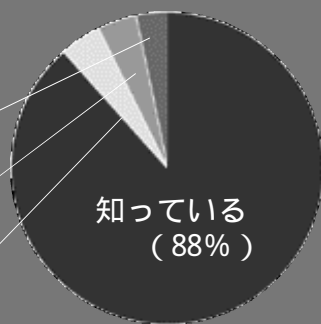


▼2011年7月の
完全地デジ化認知度

無回答(3%)

わからない(4%)

知らない(4%)



▼衛星放送の受信方法

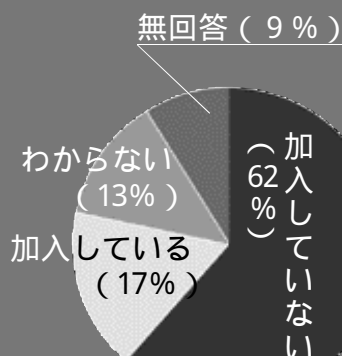
個人でパラボラアンテナで受信(78%)
共同受信組合で受信(20%)
マンションなどで共同受信(2%)

▼よく見るテレビ番組(複数回答あり)

全国のニュース(82%)
地元の天気予報(75%)
地元のニュース(70%)
全国の天気予報(63%)
ドラマ(56%)
映画(53%)
お笑い・バラエティ(52%)
スポーツ番組(51%)
音楽番組(50%)
地元の番組(49%)
上位10項目を掲載

娯楽番組よりもニュース、天気予報が上位を占め、テレビが情報を得る身近で重要な手段となっています。次点11位に時代劇が47%、また「水戸黄門」など再放送番組は33%で、テレビを見る人のうち3分の1が再放送を楽しみに見ていることがわかりました。

▼CS放送の加入状況



▼集計結果まとめ

回答者の内訳をみると、半分が60代以上、4分の1が50代、残りの4分の1が40代以下で、少子高齢化が進む状況がわかります。町内の各家庭のテレビ台数は2、3台が主流。受信方法は、3分の1は共同受信です。個人受信でも、5%の皆さんは自宅から離れたところにアンテナを立てており、山間部の電波状況

がつかえます。また、衛星放送は半数の家庭が受信しています。映り具合は、放送局違いはあるものの7割から8割はよく映るようですが、2割は映りが悪く、映らないものも1、2%あります。公共放送であるNHK総合でさえ2割の皆さんが映りが悪い、または映らないと我慢している状況です。

「地デジ」について知っているという認知度は88%ですが、地デジの言葉は知っていても、内容がどこまで理解されているのかが問題となります。町では、この調査の結果を基に、総務省や県、放送事業者と働きかけ、対策を講じていきます。アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございます。

問合せ 役場総務企画課
(電話 72-0331)

▼テレビ放送についての意見・要望(106件)

主な意見・要望

- 何の電波であろうと、国や行政が責任を持って全地域で映るようにすべきだ。
- 全地域で地デジが映るまでアナログ放送を延期してほしい。NHKは難

意見・要望の分類	割合
地デジ移行について	40%
受信状態について	20%
番組について	15%
町の取り組みについて	7%
NHKに対して	6%
その他	13%

視聴地域をカバーしてくれるが、民放は視聴者がお金を出して映るようにしなくてはならない。良い方法はないものだろうか。

■地デジ移行は、電器メーカー、放送業界の意向ばかりで国民は置き去り。

■新しいテレビ・チューナーを設置する経費がない。全額補助してほしい。

■家の周辺は電波が弱く、雨や風によって画面が二重に揺れたり音が出なくなり、いらいらする。

■今の時代、テレビが見られなければ高齢者には楽しみがなくなる。

■放映されないテレビ朝日やテレビ東京の番組が見たい。

■見たい番組が少ない。新聞、ラジオで十分。デジタル、アナログに関わらず内容がお粗末。

■地デジになっても、NHKは誰もが視聴できることが基本。町も努力すべきだ。

■総務省は「地デジに移行します」と言っているが、もっと意見を聞くべきだったのでは。早くにテレビを買い換えても町内で映らないなら意味がない。もっと早い対応を。

次回は、インターネット・携帯電話などについての調査結果を掲載します

くり 町民会議

今後は外部の専門家を招き
まちの課題など協議する方向へ



黒坂鏡山城の保護活動をスクリーンに映しながら解説

これからのまちのあり方や
まちづくりなどについて話し合う、
第9回日野町まちづくり町民会議（松本豊文委員長）が
5月22日、町役場で開かれ、
委員15人が出席しました。

会議のあり方を話し合う
事前検討会を設置

会議では、はじめに黒坂鏡
山城下を知ろう会（牧智也会
長）が取り組んでいる黒坂鏡
山城跡の保護活動や黒坂の歴
史について、同会の事務局で
もある西古尚史委員が説明し、
黒坂地区を拠点とした文化・
観光面からのまちづくりにつ
いて理解を深めました。

今回の会議では、全体会
中で、「今後の会議の方向性
について事前に話し合うため
の会が必要」との意見があり
ました。話し合いの結果、委
員長、副委員長のほか、A・
Cの各班から委員を選び、計
6人で事前検討会を開くこと

にしました。

事前検討会は、町民会議が
開かれる1か月前に開き、会
議のあり方や、出席を要望す
る外部団体・専門家について
検討します。

全体会のあと、A・Cの各
班で協議を行いました。主な
内容は次のとおりです。

A班「A班では高齢化問題と
財政再建について、任期の2
年間をかけてまとめたい。高
齢化問題は解決しにくい、
みんなの問題として取り上げ
ていきたい。

B班「まちの高齢者の皆さん
がどうしてほしいのか、その
気持ちを聞かせてもらいたい。
現状が聞ける人を老人会にお
願います。

C班「ブランド米に取り組ん
でいる講師を呼んでみたい。
まずどうやって農業を守るか
が第一。6月の視察（次ペー
ジ参照）を経て、なぜ日野町
では集落営農ができないかを
考えたい。

日野町まちづくり

農業生産法人を視察

まちの集落営農のヒントに

まちづくり委員のほか
農業委員なども参加

まちづくり町民会議では、
まちの大きな課題である農業
の高齢化や後継者不足などの
問題解決について学ぶため、
6月8日に、農業先進地視察
を行いました。

この視察には、まちづくり
会議委員9人のほか、町農業
委員や町関係者など計26人が
参加、広島県庄原市西城町の
農業生産法人「日南」を訪
し、その活動について、代表
の川崎博之さん、事務局の木



田園地帯が広がる西城町日南地区

戸一喜さんに話を聞きました。

集落の農地を集積し
共同で管理作業を

「日南」は、西城町日南地区
の9世帯すべてが加入してい
る集落営農組織。個人では限
界がある農地管理を地域で協
力して行つたため、平成14年に
農業生産法人（会社）を設立
し、地区内の各農家から作付
面積合計約6ヘクタールの農地を借り
受けて、米作りを中心に先進
的な農業を行っています。
また、転作田ではトウモロ
コシを栽培して収入を増やし、
豊かな村づくりに取り組んで
います。

借り受けた農地の管理は会
員で分担して行い、作業賃金
を支払うほか、農地の所有者
へも小作料を支払い、農業用
の機械も共同で購入していま
す。また、地域での農地保全
活動へ支払われる中山間地域
等直接支払交付金も大きな収
入源になっているそうです。
法人設立により、それまで
ボランティアで農作業を手

伝っていたものが収入が入る
ようになったり、機械を共同
で買ったことで生産コストも
下げることができ、農家も喜
んでいるとのことでした。

共通の悩みを意見交換

しかし、問題は後継者不足
について。日野町と同じく、
日南地区でも高齢化が進んで
おり、今の法人の形がいつま
で続かに頭を痛めていると
いうことです。

日野町の参加者からは、
「イノシシ対策はどうしてい
るか」「人づくり・後継者づく

魅力ある農業を

目指したい

まちづくり町民会議委員

松本 洋一さん（根雨）



りをどう取り組んでいるか」
などの質問が出され、同じ中
山間地域の住民どうし、お互
いの問題点や良かった点など
を話し合いました。参加者に
とって、農業の活性化を通じ
たまちづくりを考える機会と
なりました。



日南地区の集会所で話を聞きました

「この視察で、日野町と同じ
問題を抱える農家の声を直接
聞くことができ、とてもプラ
スになったと思います。この
成果を地域に持ち帰って、集
落営農について相談したいで
す。農業の後継者問題はそこ
まで限界が来ています。地域
みんなで協力し、魅力ある農
業ができれば、後継者となる
若者にも興味が持ってもらえ
ると思いますね」

まちの現状・政策などを説明

自治会長会議を開きました

総務企画課から

テレビの地上デジタル放送（地デジ）について
今年10月に、地デジ中継局の中日野局（大桂山）が開局します。町では、まちの皆さんが混乱なく地デジに移行できるよう、今後も総務省やNHKなどに必要な要望を行います。

全町一斉防災訓練について
今年度の全町一斉防災訓練を、10月5日（日）に行います。日ごろから、寝たきりの高齢者などの災害弱者を含めた住民の把握をお願いします。

5月13日、平成20年度自治会長会議を町役場で開き、町内の自治会長や町長はじめ町関係者らが出席しました。

会議では、まちが行っている事業などについて、各課からの説明が行われました。

主な説明内容について紹介します。

産業振興課から

不法投棄防止、環境美化運動について

町では、不法投棄を防ぐため「空き缶等の散乱の防止に関する条例」を制定し、環境美化に取り組んでいます。

また、大型の不燃ごみなどで、放置場所が個人の所有地であっても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく廃棄物の不適正処理として処罰されることがあります。

なお、全町一斉クリーン作戦を9月21日（日）に行う予定です。地域での積極的な取り組みをお願いします。

食用油の再利用について

町では、今年度から試行的に食用油を回収し、もみの木園（米子市）でバイオディーゼル燃料に精製して再利用することにしました。

食用油の回収タンクは、役場、役場黒坂支所や各学校をはじめ、協力いただける飲食店・商店や個人宅に設置し、毎月1回職員が回収します。皆さんのご協力をお願いします。

合併処理浄化槽の設置補助金について

来年度の合併処理浄化槽

設置補助金について、11月ごろに要望のとりまとめを行います。

除雪について

除雪作業は、積雪量がおおむね20センチを超えたときに行います。消火栓や排雪できない場所、排雪されると都合が悪い場所については、所有者または自治会で目印を置いてください。

また、除雪作業中、支障となる木や竹などは、所有者に了解を得ないで伐採する場合があります。あらかじめ所有者または自治会で支障となりそうな木などを伐採いただきますようお願いいたします。

教育委員会から

町民体育祭について

今年度の町民体育祭を、9月28日（日）に開きます。

会場は、根雨地区大会が根雨小学校グラウンド、黒坂地区大会が黒坂小学校グラウンドです。健康づくりのため、ふるってご参加ください。

小地域座談会について

暮らしの中のさまざまな人権問題の解決のため、今年度も小地域座談会を計画しています。引き続き人権が尊重される安心・安全なまちづくりのため、すべての自治会で開いていただきますようお願いいたします。

ふるさと納税制度を活用し

愛と元気の日野町ふるさと基金を創設

町では、ふるさと納税制度の導入に伴い、一愛と元気の日野町ふるさと基金」を創設し、賛同いただける皆さんからの寄附を募り、まちづくりに活用させていただくこととしました。

皆さんの親せきや友人など、まちづくりにご協力いただける皆さんへ、この基金をご紹介します。

子どもたちがすくすくと育ち、高齢者が安心して暮らせる福祉事業
想定できる事業「保育所・小中学校の充実、高齢者の健康づくりなど

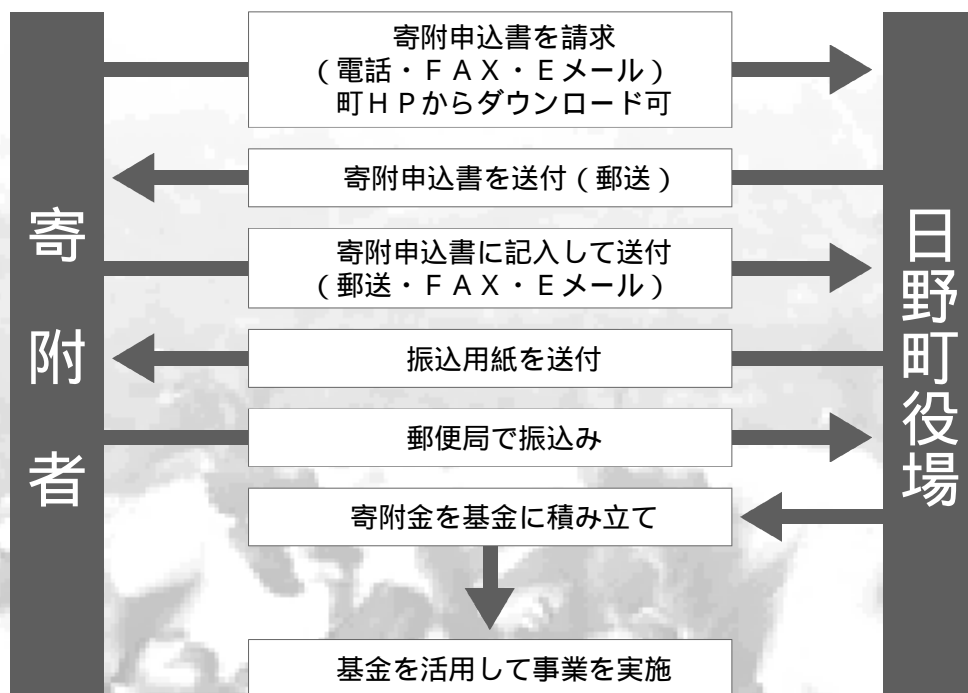
寄附金の使いみち

自然や史跡、文化財などを保存活用する事業
想定できる事業「町歴史民俗資料館、黒坂鏡山城跡などの文化財保護や、滝山、鵜の池公園の維持管理など

スポーツや文化、芸術活動を推進する事業
想定できる事業「文化センター・図書館の充実

住民みんなでつくる安心・安全な地域づくり事業
想定できる事業「地域コミュニティ育成活動、自主防災組織育成など

寄附のしくみ



▼寄附の申し込みには、まず寄附申込書を町から取り寄せてください。申込書は、電話またはFAX、Eメールをいただければ、町から郵送します。申込書は町ホームページからもダウンロードできます。届いた申込書に必要な事項を記入し、町へ郵送、FAX、Eメールのいずれかで申込んでください。申込書をもとに、町から振込用紙を送付します。▼寄附金は、一口5000円を基本として、何口でも受け付けます。(5000円以下でも受け付けます)

▼日野町へ寄附された場合、税法上の優遇制度を受けることができます。個人の場合は、寄附金の下限額(5000円)を超える部分について税額控除措置があります。

寄附申込書の請求・問合せ先

■郵便 〒689-4503

鳥取県日野郡日野町根雨101

日野町役場総務企画課

■電話 72-0331

■FAX 72-1484

■Eメールアドレス

Sounu@town.hino.tottori.jp

■町ホームページアドレス

<http://www.town.hino.tottori.jp>

がん検診を受けましょう

7月から12月にかけて、各がん検診を行います。

受診券は7月中に対象者全員に配布します。

検診車による集団検診の日程は下記のとおりです。

日野病院で受ける場合は、直接日野病院（電話 72 - 0351）まで予約してください。

なお、今年度は日野病院では肺がん検診は行いません。

■胃がん・肺がん・大腸がん検診（対象：40歳以上の男女）

実施日	会場	受付時間	対象地区
7月14日（月）	町公民館	午前8時～午前9時	黒坂1～4区、下菅、中菅、中菅中央、近江、畑
7月15日（火）			黒坂5～7区、下黒坂、根妻、小河内、布瀬谷
7月16日（水）			久住、下・中・上上菅、井ノ原、諏訪、漆原、下福長
7月31日（木）	山村開発センター	胃がん検診を受けない人は、午前9時～午前10時	根雨1～5区、高尾、後谷
8月1日（金）			根雨6区、三谷1・2区、貝原、金持、野田
9月10日（水）			板井原、濁谷、門谷、秋縄、三土、舟場、津地、安原
9月11日（木）			下榎1・2区、上・下本郷、榎市、小原、別所

■乳・甲状腺がん・子宮がん検診

（対象：乳・甲状腺がん検診＝40歳以上の女性で偶数年齢の人、子宮がん検診＝20歳以上の女性）

実施日	会 場	受付時間	対象地区
9月3日(水)	町公民館	午後1時～午後2時	黒坂1～7区
9月16日(火)			久住、下黒坂、根妻、下菅、中菅、中菅中央、近江、畑、小河内、布瀬谷、下・中・上上菅、井ノ原、諏訪、漆原、下福長
9月17日(水)	山村開発センター		根雨1～5区、高尾、後谷、金持、板井原、濁谷、門谷、秋縄、三土
11月13日(木)			根雨6区、三谷1・2区、貝原、舟場
11月14日(金)			野田、津地、安原、下榎1・2区、上・下本郷、榎市、小原、別所

●問合せ 役場健康福祉課 担当 伊田（電話 72 - 0334）



お寄せします 提案箱

『提案箱』に寄せられたご意見・ご提案の一部を紹介します

黒坂の子どもに遊び場を

（町内の方からのご提案）

3月に閉所した黒坂保育所の園庭を、公園として活用できないでしょうか。黒坂には子どもが集まって遊ぶ場所がありません。保育所がなくなり、遊び場もない...少子化が進む中、子育てしにくい日野町の未来に不安を感じています。

（町からの回答）

貴重なご意見ありがとうございます。旧黒坂保育所は、今のところ、施設を有効活用できないかと、利用していただく人を求めているところです。

また、旧黒坂保育所の園庭を子どもの遊び場にとのご提案ですが、町としては、黒坂小学校の校庭を学習時間を除いて開放していますので、ご利用いただきたいと思います。

- まちへのご意見・ご提案などなんでも提案箱へお寄せください。寄せられたご意見の一部と回答を紙上でご紹介します
- 提案箱の設置場所＝町役場、役場黒坂支所、根雨および黒坂郵便局

日野病院です

転ばぬ先の杖と知恵

日野病院 看護局長 小村裕美子

最近、平たいところを歩いていてつまづいたり転んだことはありませんか？

経験の有無に関わらず、転んで骨折などして寝たきりにならないために、ちよつと自分の歩き方や日常の生活などを振り返ってみましょう。

まず、転びやすい歩き方の特徴として、すり足・ちよこちよこ歩きの方が多くいます。図1はこの歩き方では目線が下で、歩幅が狭く、つま先が上がっていません。また、つま先で地面をけることができず、一見転ばないように注意深く歩いているようですが、実は逆効果です。

また、高齢者の方に起こしやすい転倒による骨折の部位は図2に示すところが多いようです。

そして、転ぶ場所は約7割の人が居室内に多いというデータがあります。家中の電気コードやマット、段差・履物（靴下で滑る）などによる転倒です。

また、転びやすい人には、肥満傾向の



図1

● 転びやすい歩き方

■ 老人に起きやすい転倒による骨折



図2

人・健脚度（筋力）が弱い人・動脈硬化傾向の人・外反母趾の人が多いのも特徴です。

そこで、転ばないための日常の工夫として、

しっかりと歩きましょう（つま先でけつて、かかとから着地）

筋肉を伸ばしましょう（軽く手や足を動かし、伸ばしましょう）

足の裏を敏感にしましょう（足指ジャンケンなどで足の指を動かしましょう）

上手に靴を選びましょう

ポイント▼足の指が動かせるだけのゆとりがある▼足の甲の部分まで覆われている・かかとがしっかりと包み込まれている

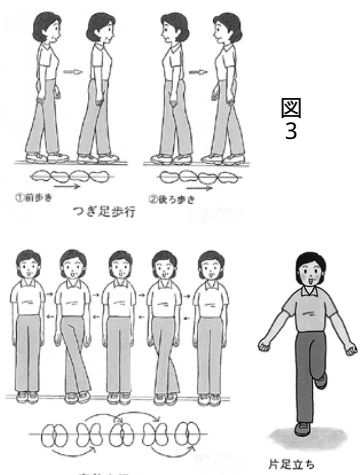
▼かかとの接着面が広く、3〜5センチの高さがある▼足の関節部分で曲げることができる▼靴底に適度な硬さと弾力がある

脳梗塞予防のため水分補給を（お酒はアルコールを分解する時に体内の水分を要しますので脱水に要注意）

以上、毎日少しの時間を使って体を動かし、バランスの良い体づくりを心がけましょう。

いつでも、どこでもできる訓練法を参考にしてください。（図3）

図3



カラダとココロの

介護予防

外に出かけて心も体もリフレッシュ

閉じこもりのサインに要注意

1週間外出しないで、行動範囲のほとんどが家の中や庭先ぐらいになってくると「閉じこもり」のサインです。

閉じこもりは知らないうちに関係が薄れていき、体力や心肺機能を低下させ、転びやすくなったり、めまいや疲れやすくなったりします。また、外からの刺激が少なくなり、ぼんやりすることが多くなったり、ひどい物忘れを起こす要因になります。

お出かけの達人は閉じこもり予防に、外に出る楽しみを見つけて、お出かけの達人になりましょう。



まちの介護予防だより 連載

役場健康福祉課（電話 72 - 0334）

閉じこもり危険度チェック

☒ 「はい」と思う項目をチェックしてみましょう

活動

- ☐ 1週間に1回以上は外出している
- ☐ 運動などで体を動かしている
- ☐ 出かけることが好き
- ☐ 趣味や楽しみがある

生活

- ☐ 食のバランスを考えて食べている
- ☐ 何か興味や関心がある
- ☐ 家庭内での役割がある
- ☐ お金の管理を自分でしている
- ☐ おしゃれに気を配っている

社会

- ☐ 相談相手がいる
- ☐ 地域の催しや活動に参加している
- ☐ 人と話す機会がよくある
- ☐ 世の中のニュースに関心がある

☐ にチェックはいくつありましたか？
「はい」を増やしていくことが大切です

再確認



まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題を
お寄せください。
☆役場総務企画課まで（電話72・0331）



販売活動が大きな経験に

販売を通して交流

日野高シヨップ開店

日野高等学校（根雨）の生徒が育てた野菜・草花や加工品などを販売する日野高シヨップが、5月10日、出雲街道根雨宿一番館（根雨）に開店しました。

今回販売されたのは、手づくり豆腐、トマトケチャップや、ペゴニア、マリーゴールドなどの草花。開店の午前10時から約50人の町民が行列を作り、加工品は開店後すぐに売り切れるなど大盛況でした。

この日野高シヨップは、12月までの毎月第2土曜日、出雲街道根雨宿一番館で開かれます。

田植えで都市との交流

里山元気塾田植え体験

5月11日、里山元気塾（小谷博徳塾長）主催の田植え体験が、上菅地内の水田で行われ、町内をはじめ県内各地から約30人が参加しました。

これは、同塾が都市と地域の交流事業として毎年行っているもので、当日は、10人の水田に参加者が横一列に並び、コシヒカリの苗を一つずつ手で植えていきました。田植えのあとは、地元産の食材を使った食事で参加者どうし交流しました。

参加した鳥取市の学生は、「田植えは2回目で、今回も楽しくできました。地域の人も温かく、いろんなことを教わりました」と話していました。



泥の感触を楽しみながら

地域活動に役立てて

ボランティア活動に助成金

日野ボランティアネットワーク（小谷博徳代表）の活動に対して、財団法人キリン福祉財団から助成金27万円が贈られ、5月14日、鳥取県西部地震展示交流センター（根雨）で贈呈式が行われました。

これは、同財団が行っている地域福祉活動支援事業にボランティアネットワークが応募し、今年度の助成が決まったものです。

贈呈式では、財団の国松秀樹事務局長が「この助成をきっかけに、さらに活動をステップアップさせてほしい」とあいさつし、目録が手渡されました。



助成を受けるネットワーク事務局の皆さん

アユ漁解禁に先駆けて

ひのっこ保育所アユ放流

5月20日、ひのっこ保育所の年長児26人による稚アユの放流が、黒坂カワコふれあい公園で行われました。

これは、6月からのアユ漁解禁を前に毎年行われ、自然や生き物とふれあうことで命の大切さを学んでもらおうと、町水産振興連合会（頭本尚恵会長）が主催しているものです。

頭本会長が「7月にはアユつかみも計画しています。今日は元気なアユをみんなで放流してください」とあいさつしたあと、園児らはバケツに入った稚アユを一齐に放流。「大きくなつてね」などと声をかけたり、上流へ向かって泳ぐアユを目で追ったりしながら数万匹の稚アユを見送りました。



子どももアユも元気いっぱい



糸のこの使い方をアドバイスする小黒さん（左）

素朴な味わい、木の香り

木のおもちやづくり教室

木のおもちやを作ること、木の温もりに触れてもらおうと、6月3日、根雨小学校で木のおもちやづくり出前教室が開かれ、根雨小学校6年生18人が参加しました。

今回は、世界で活躍する組み木デザイナーの小黒三郎さん（倉敷市）を講師に迎え、「動物の親子」の組み木パズルを作りました。

小黒さんが木のおもちやを作り始めたきつけや、使う木の種類、作り方のポイントなどを説明したあと、子どもたちは自分で考えた図案を木の板に描き、糸のこを使って慎重にパズルにしていきました。町内の木のおもちやづくりボランティアも協力し、個性豊かな世界で一つだけの木のおもちやが完成しました。

秋の収穫楽しみに

セルプひのサツマイモ苗植付け



成長を願いながら丁寧に植えました

障がい者の通所施設、セルプひの（根雨）の利用者ら12人が、6月7日、舟場地内の畑にサツマイモの苗を植えました。

この畑は、畑を管理している小田切博美さん（舟場）が提供したもので、今回は小田切さんも手伝いながら、250本の苗を全員で協力しながら1本ずつ植えていきました。

小田切さんは、「昨年からのこの畑を提供しています。利用者の皆さんにも喜んでもらえてうれしい」と話していました。

サツマイモの収穫は10月中旬ごろ。収穫したものは、焼きいもにして各種イベントで販売される予定です。

まちの芸術家の作品一堂に

町文化展

町内の美術愛好家による作品展、第5回町文化展（町文化団体連絡協議会主催）が、6月8日から10日までの3日間、山村開発センターで開かれました。

今回は、絵画や写真、陶芸、ちぎり絵、書道などの作品が多数展示されました。

会場には、町内をはじめ、町外からも多くの人が訪れ、力作ぞろいの作品を一点一点ゆくりと眺めていました。

また、8日にはお茶のサービスも行われ、来場者に癒しのひとときを提供しました。



出来栄に感心しながら観賞

「リバーサイドひの」指定管理者が決定 7月から営業を再開

町交流センター「リバーサイドひの」（下榎）は、昨年10月から営業を休止していましたが、米子市の株式会社M・Aサービス（岡田文代表取締役）が新しい指定管理者（管理運営団体）に決まり、7月1日から営業を再開することになりました。

町では、昨年11月から今年4月にかけて指定管理者を公募していたところ、4団体からの応募があり、指定管理者選定委員会を経て指定管理者を決定しました。

予約・問合せ 【6月30日まで】（株）M・Aサービス（電話0859・29・0631）、【7月1日から】リバーサイドひの（電話・77・0333）



おしらせ

国民年金保険料免除制度

経済的な理由などで国民年金保険料を納めることが難しい場合、保険料の納付が免除や猶予になる「保険料免除制度」や「若年者納付猶予制度」（30歳未満のを対象）、「学生納付特例制度」（学生対象）があります。

免除・猶予期間は年金の受給資格期間に算入されますが、保険料が未納の状態では、万一障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられ

ないことがあります。

全額免除期間や一部免除期間は、将来受け取る年金を計算する際、全額納付した期間と比較して年金額が少なくなりますが、10年以内であれば、後から保険料を納めることができます。（ただし、免除などの承認を受けた期間の翌年度から起算して3年度目以降に追納する場合は、当時の保険料額に経過した期間に応じて加算額が上乗せされます）なお、免除などには退職（失業）の特例があります。免除・猶予申請は原則として毎年手続きが必要です。また、免除該当期間は、7月1日から翌年6月30日までです。問合せ 米子社会保険事務所

「地域が育む河川環境保全事業」が今年度から「協働型ボランティア促進事業」へ

対象団体 鳥取県土木施設愛護ボランティア団体活動促進規程に基づき登録された団体で、構成員が10人以上の団体

役割 草刈り（年1回以上）、植栽管理、清掃活動など対象施設 県が管理する施設で、河川等は草刈りなどの必要面積が0・2ヘクタール以上、道路は延長0・5キロ以上または

植樹の面積が50平方メートル以上の施設活動期間 協定締結の日から毎年度末まで交付金額 ▼河川等〃面積1平方メートル当たり40円（上限40万円）▼道路〃面積1平方メートル当たり40円（上限20万円）▼植栽管理〃面積1平方メートル当たり500円（上限20万円）複合の場合は40万円を上

（電話0859-346111）または役場住民課（電話72-0333）

平成20年分の路線価等公開日について

国税庁では、平成20年分の路線価等を、7月1日（火）に全国一斉公開する予定です。公開内容は、国税庁ホームページ【www.nta.go.jp】で閲覧できます。

国税庁・税務署では今年度から路線価図等（冊子）を備え付けていませんのでご了承ください。問合せ 米子税務署 総務課（電話0859-324121）

限、道路に係る部分の上限は20万円。いずれも1万円未満切り捨て募集締切 7月10日（木）

応募者多数の場合は抽選。説明会を7月2日（水）午前10時から日野総合事務所大会議室で開きます。参加を希望する人は事前に申込んでください。申込み・問合せ 日野総合事務所県土整備局 維持管理課（電話72-2047）

■教育委員会からのお知らせ 教育長の選任などについて審議

6月5日、第6回の町教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

▼議案 日野町教育委員会教育長の選任について〃田淵久之前教育長の退任に伴い、山本武史氏を教育長に選任しました。

▼議案 歴史民俗資料館館長事務取扱の発令について〃同館長事務取扱を山本武史教育長に兼務発令しました。

▼議案 日野町社会教育委員の委嘱について

▼議案 日野町公民館運営審議会委員の委嘱について〃現委員の任期が6月で満了となり、7月から引き続き2年間委嘱することとなりました。

新しい教育長に山本武史さん



山本武史さん

田淵久之前教育長が6月4日付で退任し、6月5日に開かれた教育委員会では、新しい教育長に山本武史さん（下黒坂）が選任されました。

また、5月26日に開かれた第4回日野町議会臨時会で、新しい教育委員に遠藤公俊さん（根雨）の選任を議会が同意し、6月5日付で新しく任命されました。



遠藤公俊さん

手づくりのひのき舞台 花道が完成しました

5月、ホール森の音楽隊の舞台脇に、手づくりの花道が完成しました。

これは、すでにある舞台両脇の扉と舞台をつなぐため、大工の宇田春男さん（黒坂）が2年ほど前から準備し、ボランティアで製作いただいたものです。

材料は町内産のヒノキを使い、町民有志のボランティアの皆さんにも作業を手伝っていただき完成しました。

これにより、ホールの舞台が広く使えるようになりました。

本当にありがとうございました。宇田さんの職人の技が生かされています



■おしらせ
裁などの環境整備もあわせて行っていきます。手伝っていただける人はご連絡ください。



町歴史民俗資料館では、8月に「根雨公会堂建築写真展」を開き、同時に「まちの昔なつかし写真展」の開催も計画しています。明治・大正・昭和にかけてのまちの暮らしや風景、年間行事などの写真をお持ちの方は、町文化センター内町歴史民俗資料館友の会（電話72・1300）までご連絡ください。

昔なつかし写真

募集中

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1484

E-mail hinososyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

7月

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
5	6	7	⑧	9	10	11
12	13	14	⑬	16	17	18
19	20	⑪	22	23	24	25
26	27	28	⑳	30	31	

図書館の展示コーナー

人権について考えよう

人権パネルと標語

参考資料展

7月2日（水）～30日（水）

●町歴史研修会公開講座

7月16日（水）10:00～

場所：山村開発センター

■テーマ：「出雲街道根雨宿総集編」
～根雨宿のにぎわいについて～
講師：川上護さん

●木のおもちゃづくり

7月20日（日）9:30～12:00

場所：図書館車庫

■組み木のパズルなど（要材料費）

●図書館おはなし会

7月26日（土）10:00～

場所：図書館絵本コーナー

■夏を楽しむ絵本、おはなし、わらべうたなど（参加無料）

●サイエンスアカデミー講座

7月26日（土）10:30～12:00

場所：図書館郷土資料コーナー

■テーマ：「命のみなもと～水～シリーズ」

日野いきいきツーリズム講演会

13:30～（展示・物販は11:30～）

■会場 ホール森の音楽隊

■内容 講演「南信州での体験型観光の取り組み」

講師：高橋充さん（長野県飯田市南信州観光公社）

パネルディスカッション

展示・物販

入場無料

■問合せ 日野総合事務所県民局県民課（電話72-2086）

第4回 日野川合唱フェスティバル

13:00開演（12:30開場） 入場無料

■会場 ホール森の音楽隊

日野川沿いで活動している合唱団による、美しいハーモニーをお楽しみください。

町公民館だより

編集 日野町公民館

〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1

電話：74-0212 FAX：74-0105

E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

地球のために、地域のために ごみの減量にご協力を

▼第2回おしどり学園



身近なごみ問題について興味深く聞く

5月16日、第2回おしどり学園を町公民館で開き、教養一般講座では、「廃棄物を出さない取り組みについて」と題し、役場産業振興課の柴田孝志課長による講演を行いました。

柴田課長は、まず日野町におけるごみ処理の現状について話し、平成18年度の『燃えるごみ』の焼却処分にかかった費用が4852万円、焼却処分した量は1021トンにのぼっていることを説明しまし

た。なんと、1トン当たり4万6924円の処理費用がかかっていることになりました。さらに、不燃物のごみ処理を含めると年間1億6000万円もの処理費用がかかっています。

また、「町民1人当たりの1か月のごみ排出量は平均20・6kgで、日野町はリサイクル率も県下で最も低いレベルにある」とも指摘しました。ごみの減量化・分別の徹底・リサイクルの推進で町の財政

負担も軽減すると学園生に訴えかけました。

古紙のリサイクルについては、「新聞紙の間にハガキや名刺、請求書など小さな古紙を挟んで出して、燃えるごみの減量化に取り組んでほしい」と話しました。

また、平成20年度からのごみ減量化の取り組みとして、布類の回収に取り組みむことと食用油の再利用も紹介されました。布類はリサイクルされ、王子製紙の燃料に使われていること、古い食用油はバイオディーゼル燃料に精製され、ディーゼルエンジンに使えるものになることを聞き、学園生は驚いた様子でした。

ふだん聞くことができない話や質問に対して詳しく説明を聞き、学園生は明日からでも実践できるごみの減量化について取り組んでみようという心で誓いました。

学園生以外の方も講演に参加できます ～第4回おしどり学園のご案内～

日時 7月18日（金）午前9時30分～
場所 町公民館
内容 日々進化する悪徳商法について
（講師の都合により変更することがあります）
問合せ 町公民館（74-0212）
その他 当日は町営バスを臨時運行します

▼グループ専門講座「健康」
7月は、日野病院の管理栄養士を招き、栄養について学びます。学園生以外の方も気軽に参加ください。

おしどり学園 学園生募集

期間 毎月1回（おおむね第3金曜日）

場所 町公民館

時間 午前9時30分～午後0時30分くらい

対象 おおむね65歳以上で年間を通して参加できる人
専門講座 6講座（生花、手芸、料理、語る会、グランドゴルフ、健康）

問合せ 町公民館（電話740212）

いにしえの道を歩き、自然を満喫

公民館体験事業「出雲街道自然観察ウォーク」

5月10日、一出雲街道自然観察ウォーク」と題して、日野町から岡山県新庄村まで抜ける出雲街道の中でも一番の難所、四十曲峠を歩き、自然を観察しながら街道の歴史について学びました。

当日は20人が参加し、国道181号の四十曲トンネル付近から出雲街道に入り、歴史については、町歴史研修会の牧智也会長から、街道が使

われていた時代背景などについて説明を受けました。また、自然については、街道に茂る木々について、森林インストラクターの矢田貝繁明さんから説明を受けました。

峠にある四十曲峠と書かれた看板の前で参加者全員で記念撮影を行ったり、昼食には道中で摘んだ山菜を天ぷらにし、春の自然散策を楽



雨模様の中7*の道のりを歩きました

しみました。季節ごとの山歩きは楽しいことだと、公民館職員も満喫しました。

大人が変われば子どもも変わる

「まず大人が変わること。できることから始めよう」

高校生マナーアップさわやか運動

みなさんは「高校生マナーアップさわやか運動」をご存じですか。新聞でも活動の様子が紹介されています。

多くの大人が見本となり、あいさつ・声かけなどを行うことで青少年に影響を与え、変えていこうと町青少年育成会（柴原保明会長）も運動に参加しています。駅を利用する高校生にあいさつをするの

はもちろんですが、通勤する大人にもあいさつをして自覚を促すことも目的にしています。

この運動が始まってから高校生の乗車マナーが改善に向かっているといわれています。しかし、その反面で注目されているのは、大人があいさつをしないこと。運動に協力いただいている団体からも意見



が出ています。大人も変わる時が来ているようです。「おはよう」、「こんにちは」と明るく、さわやかな声が聞こえるまちにしましょう。

青ハト通信

空き巣に注意しましょう

「鍵をかけない家が狙われる」

最近、空き巣が多発しています！

狙われないような対策をとりましょう。

自分の家は大丈夫だろうと思って油断してはいけません。常に鍵をかけるなど、未然に防ぐ気持ちを持ちましょう。

確実な戸締りを

「ウチは昔から鍵なんてかけたことがないよ」…こんなことを聞くことがあります。ドロボウはその「スキ」を狙っています！

ちよつとの外出でも鍵をかける習慣を身につけましょう。近所へ回覧板を持つて行く、ゴミを捨てに行くといった時にも鍵をかける。

外出する前には家全体の戸締まりを確認しましょう

1階だけでなく、2階の窓も狙われています。夜間ももちろん鍵をかけましょう。

不審者の発見・通報

地域で見かけない人や県外ナンバーの車に注意しましょう。

犯行をあきらめさせる地域づくりをしましょう。不審者を見つけたら、「何かご用ですか？」と声をかけることが未然に防ぐ第一歩です。

おかしいなと思ったら、すぐ110番！

不審者を見つけた、不審な車が止まっているなど、「おかしいな」と思ったら、警察に通報しましょう。その少しの「勇気」が犯罪を寄せ付けない地域づくりになります。

日野町地域防犯・生活安全パトロール協議会事務局
(町公民館 電話74・0212)

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1

電話：72-1191 (FAX兼)

E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



ひと たいせつ こころ そだ 人を大切にする心を育てる ▼榎の実学習会開講式

5月から2月までの間、毎週火曜日が小学生、毎週木曜日が中学生の学習会が開かれるのに先立ち、開講式が5月13日に行われました。

開講式には小学生19人、中学生9人と小中学校の先生、自治会長や保護者のほか、教育委員会と隣保館の職員が出席し、それぞれ激励の言葉を児童生徒に送りました。また、児童生徒の代表が、1年間の目標や、休まず学習会に参加するなど決意を發表しました。

▼小学生学習会

小学生の学習会は5月20日から始まり、5月27日と6月3日は、老人憩の家で花を育てようと、榎の美老人会の方々に指導いただきながらプランターを作り、花を植えました。



一夫してかわいいプランターに

花植えのあとは全員で頭

体操、簡単な算数のプリント問題に挑戦して、老人会といっしょに交流を深めました。

▼中学生学習会

中学生の学習会は、5月15日から始まり、5月22日の3回の学習会では、これまでの教科学習と人権学習のほかに、月に一度隣保館が行う地域学習が加わったことが、隣保館長から説明がありました。

地域学習では、人を大切にする心を育て、いじめや偏見・差別をしない・させない。負けないための学習や活動をする予定ですが、学習を充実させるためのアイデアをみんなで話し合いました。

ぼかぼか教室を開きました

5月14日のぼかぼか教室は、D・スポーツの高橋伸也さんの指導で、セラバンド（ゴムバンド）を使ったストレッチ体操や、しゃんけん（けん）の活性化を促す運動を行いました。

農繁期ということもあり、足腰が痛いという人が多かったのですが、ストレッチ体操がとても気持ち良かったと喜ぶ声も聞かれました。

梅雨を乗り切る

メニューで料理教室

6月5日、隣保館学習講座の料理教室を開きました。

飯島好江さんの指導で、旬のえんどう豆や梅を使い、全部で5品の料理を作りました。

いずれも食欲をそそる献立ばかり。梅雨を乗り切るのにぴったりのメニューで、参加者にとっても好評でした。



しっかり食べて梅雨を乗り切りましょう

自分だけの器を作ってみませんか

塚本正夫さんを講師に迎え、新しい学習講座「陶芸教室」を3回に分けて行います。どうぞ参加ください

日	時	7月7日(月) …形作り、28日(月) …絵付け、8月4日(月) …作品鑑賞
※時間	は	いずれも午後1時30分～午後4時30分
場 所	下榎	隣保館
参加費	500円	

7月の学習講座予定

■編み物 12日(土) 午後1時～
老人憩の家(講師 安達利子さん)

■生け花 15日(火) 午後7時30分～
下榎集会所(講師 生田清子さん)

一日程など変更になることがあります。
詳しくは下榎隣保館へどの講座も2時間の予定です。お気軽に参加ください

人権のまち

ひの

2008年6月

障がい者問題について考える

4月23日に山村開発センターで開かれた2008年度町人権・同和教育推進協議会総会に引き続き研修会が行われ、セルプひの（根雨）の田子功司所長による講演が行われました。

セルプひのは、障がいがある人たちが自立を目指し、いろいろな作業などを通して日常生活訓練と収入を得るための通所施設で、社会福祉法人祥和会が2005年4月に開設しました。

今回の講演は、「地域で共に暮らす」という演題で、田子所長が日ごろのセルプひのの活動や、障がい者と地域との関わりなどについて話しました。今回はその内容を紹介します。

セルプひのの活動について

セルプひのは、現在郡内を中心とした20人の利用者があります。仕事の内容は、花壇・プランター管理などの受託事業と、せんべい・クッキー・パンなどの食品や草花の営業販売、刺し子などの手芸品や木工品を作る自主生産などです。手づくり絵馬は金持神社でお土産品として販売されています。

このほか、オシドリの観察

シーズンには、出張販売「ほっとプレス」をオシドリ観察小屋付近で開いたり、各種イベントでも出張販売を行っています。

障がい者問題とは

「障害者自立支援法」により、2006年から、障がい者も施設利用料を自己負担することになり、自立どころか障がい者の生活を圧迫している状況も生まれています。



参加者に訴えかける田子所長

障がい者は社会経験が少なく、それが誤解や偏見につながっている面もありますが、最近では、障がいも一つの個性として受け入れられ始めています。

ヘレン・ケラーの言葉に「障がい者は不自由であるが不幸ではない、不幸にしているのは健全者である」というものがあります。障がい者問題は障がい者自身の問題ではなく、障がい者を排除する人の問題だと考えます。

地域とのつながりが経験に

セルプひのでは、始めに紹介した事業のほかにも、町駅伝大会など、いろいろな行事に参加し、地域の皆さんと交流を図っています。こうした経験を積み重ねることによって、利用者にもいい変化が現れているようです。これからも積極的に参加していきたいと考えています。

また、祥和会では、町内に障がい者が共同生活を送るグループホームも運営していますが、地域の皆さんに温かく受け入れていただいています。誰もが希望を持って幸せに暮らせるまちがよいまち。皆さんも、これからは私たちの催しなどに来てほしいと思います。



会場では出張販売も

おひさまひろば

だより



ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、親子で楽しく遊んでいます。毎回ボランティアの皆さんにもお世話になっています。

▼開設日 毎週水・金曜日 午前9時～午前11時
金曜日は、参加者が親子で自由に利用いただける日です。（お茶は各自で用意してください）

7月の開催日

- 2日（水）＝七夕の短冊を飾ります。飾りを作って持って来られても大歓迎です
- 4日（金）
- 9日（水）＝魚つり
- 11日（金）
- 16日（水）＝水遊び（水遊びができる準備をしてきてください）
- 18日（金）
- 23日（水）＝図書館からのおはなし会（9:45～10:15）
- 25日（金）
- 30日（水）＝水遊び、保健師による子育て相談

5月は、小麦粉粘土遊びやアサガオ、ヒマワリの種まきをしました。かわいい芽がたくさんのでき、花が咲くのをみんな楽しみにしています。

木のおもちゃや牛乳パックの手づくりおもちゃなど用意しています。暑くなりますので水遊びもいっしょにしましょう。皆さんお誘いあわせお越してください。

連絡先 ひのっこ保育所（電話 72 - 0238）
役場健康福祉課（電話 72 - 0334）



遊びのコーディネーター、木の専門店「木や」の高橋さんを招き、年齢に合ったいろいろなおもちゃを紹介していただきました



1歳児には、遊びやすいようにつまみが付いたパズルがおすすめです。絵もきれいで、とても喜んで遊びました

民生児童委員が替わりました



中田初枝さん

6月から、高尾・後谷・金持・板井原地区の民生児童委員が、鷺見敬四郎さん（高尾、4月30日退任）から、中田初枝さん（金持）に替わりました。
そのほかの委員は、広報ひの1月号に掲載しています。
暮らしの中の悩みごとや困りごとがあれば、何でも気軽に相談ください。

こころの散歩道

日野町俳句同好会 選

引き寄せて朴の（講師）谷 悦子
早苗挿す鏡の水田砕きつゝ 安達つる糸
牡丹に傘さしてやり吾が狭庭 荒木 習子
春日和曾孫はしゃぎて旗取りに 梅林 春子
女系家に男児さづかり鯉のぼり 勝瀬 京子
髪切つて夏の心となりけり 川上 文子
空バスの来てそれだけの町薄暑 久城 霞溪
春暁や覚めるに惜しき夢を見て 徳本千鶴子
水張りて早苗届くを待つばかり 真壁富貴枝
（五十音順）

編集後記

■町文化センター／ホール森の音楽隊の舞台上に花道を作ってくださった宇田春男さん。製作現場を何度か見学しましたが、さすがはベテラン大工さん、作業に無駄がなく丁寧。高齢にも関わらず的確に指示を出される姿に、「カッコイイ〜！」と心の中で叫んじゃいました（笑）■どんな花道が完成したのか、ぜひホールの催しで確認してみてくださいね。（i）

届出 5月11日～6月10日 敬称略
おくやみ
～ご冥福をお祈りします～
（氏名） （年齢） （住所）
5月届出分 生田真理子 55歳 本郷
6月届出分 三原 敏子 86歳 黒坂

5月31日現在

わたしの町

（前月比）

人口 4,067人（-2）
男性 1,905人（-1）
女性 2,162人（-3）
世帯 1,544戸（-）

7月 ぐらしのカレンダー

JULY (文月)



1 火	乳児健診・BCG予防接種 開発センター 受付：午後1時15分～午後1時30分 法律相談 開発センター 午後1時～ 申込み：町社会福祉協議会（74-0338）6月27日〆切	17 木	
2 水	不燃ごみの収集日（全町）	18 金	
3 木		19 土	ねう祭り 根雨地内 午後6時～（大雨中止）
4 金		20 日	
5 土		21 月	海の日（可燃ごみの収集は休みます） 22日に月曜日の地区を収集します
6 日		22 火	全町の可燃ごみを収集します
7 月	健康相談 町公民館 午前9時～午前10時 人権相談 開発センター 午後1時～午後3時 隣保館陶芸教室 下榎隣保館 午後1時30分～	23 水	ペットボトルの収集日（全町）
8 火		24 木	全血献血
9 水	資源ごみの収集日（全町） 行政相談 開発センター 午前9時～正午	25 金	
10 木		26 土	
11 金		27 日	第31回鵜の池マラソン大会 鵜の池湖畔 受付：午前8時30分～、スタート：午前10時～
12 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後1時～	28 月	隣保館陶芸教室 下榎隣保館 午後1時30分～
13 日	第63回日野郡民総合体育大会 主会場：江府町	29 火	
14 月	胃がん・肺がん・大腸がん検診 町公民館（詳しくは8ページをご覧ください）	30 水	不燃粗大ごみの収集日（全町）
15 火	胃がん・肺がん・大腸がん検診 町公民館（詳しくは8ページをご覧ください） 隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分～	31 木	胃がん・肺がん・大腸がん検診 開発センター（詳しくは8ページをご覧ください） 固定資産税2期分、国民健康保険税1期分、介護保険料1期分・後期高齢者医療保険料1期分納期限
16 水	古紙・RPF（布）の収集日（全町） 胃がん・肺がん・大腸がん検診 町公民館（詳しくは8ページをご覧ください）		

ミニギャラリー情報（町内の展示コーナーを紹介します）

- 山陰合同銀行根雨支店
『岡清子さんパステル画展』～7月11日まで
『日野町墨彩会 墨彩展』7月14日～8月15日まで
- 蔵美術館
『岡野三郎さん【春の大山】』～8月10日まで
- 県西部地震展示交流センター
『豪雨水害と土砂災害写真展』～8月27日まで

直通電話
総務企画課 72-0331 住民課 72-0333
産業振興課 72-2101 黒坂支所 74-0211
農業委員会 72-2103 教育委員会 72-2107
地域包括支援センター 72-1852 ひのっこ保育所 72-0238
役場代表番号（夜間・休日）72-0331

出納室 72-2105 健康福祉課 72-0334
公民館 74-0212 議会事務局 72-0335
文化センター 72-1300 給食センター 72-1167
下榎集会所 72-1191

町長の定期便

第27回

まちの林業にも支援を

梅雨の到来です。一昨年の梅雨末期の豪雨により、このまちも大きな被害を受けました。そのときの復旧工事も、関係者の尽力によりこの春ようやく完成いたしました。近年の傾向として、ゲリラ的な集中豪雨で起こった土石流による被害が多くみられます。予期せぬ場所での時間雨量が100ミリ前後となり、大きな被害を引き起こしています。大雨となれば、常に早めの避難を心がけ、安全な場所への移動をお願いします。

昨年10月から、町交流センター「リバーサイドひの」を休館し、皆さんにはご迷惑をかけていましたが、先日、運営していただく会社が決まりました。予定では7月1日からの営業開始となります。運営内容については、今までとそう違いはありませんが、新たな展開も期待しているところです。皆さんに有効に利用していただき、交流の拠点として元気なまちづくりに一役担っていただきたいと思います。

先月末には、日南町の櫛才口チが営業を始められました。この会社は、活用されていないスギ材を有効利用し製品化するという、画期的な取り組みをされます。

日野町では、戦後植林された人工林の多くが手入れされず放置されています。この立木を間伐し、持ち出して少しでもお金にしながら、山が本来持つ機能を保ち、あるべき姿に戻すためにも、早急に取り組まなければなりません。間伐を促進し、また将来の国産材時代の到来に向け、町も支援したいと考えています。

(6月8日記)

日野町長 景山 享弘

町食生活改善推進協議会さん オススメ料理 ⑤2



いかバーグ

コレステロール値を下げるタウリンが豊富
低カロリー も魅力です



【材料】4人分

- ロールいか (500g) ●たまねぎ (2/3 個)
- A【パン粉 (大さじ4)、牛乳 (大さじ2)、卵 (1個)、塩 (小さじ1/3)、こしょう (少々)】
- 油 (少々) ●バター (大さじ2)
- しょうゆ (大さじ3) ●パセリ (適量)

【作り方】

- ①たまねぎはみじん切りにし、油大さじ1強でよくいためる。いかは3センチ幅に切って、フードプロセッサーに入れてミンチにする
- ①をボウルに入れ、Aを加えてよく練り混ぜて生地を作る
- フライパンに油大さじ1を中火で熱し、②の生地を大きめのスプーンですくって丸めながら並べ入れる。軽く表面を押して形を整えながら弱めの中火で2分焼き、裏返して弱火で、ふたをして5分ほど焼く
- ③にバター、しょうゆを順に加えて火を止める。皿に盛り付けパセリを飾る



『私たちちょっとメタボリックかしら』
撮影 ● 仲村吉一さん (倉吉市)

オシドリ

自然の営み

Vol. 124



スズメやツバメなど、身近にいる鳥たちは子育てに忙しそうです。あちこちでにぎやかなさえずりが聞こえています。オシドリもきつと真つ最中でしよう。先日「近所の田んぼにオシドリ夫婦が来ていたよ」という情報をいただきました。ヒナを連れたオシドリに会ってみたいものです。アユかけさんからの情報が楽しみです。ね。自然の営みに畏敬の念です。

【連絡先】 オシドリグループ事務局
森田 (電話72 0271)